

年収150万円 で暮らす法

吉田 清彦

ス代を押し上げている元凶
熱費は、四、五年前に一万
円を超えたあと、一向に減
減らして、家に籠(こ)も
る気配を見せていない。ク
ラは、涼風など期待すべくも
ない。
つまり、外での稼ぎと光
熱費とは反比例の関係にな
つていて、わが家の水道光

水道料 基本料金超えず

熱費は、四、五年前に一万
円を超えたあと、一向に減
減らして、家に籠(こ)も
る気配を見せていない。ク
ラは、涼風など期待すべくも
ない。
つまり、外での稼ぎと光
熱費とは反比例の関係にな
つていて、わが家の水道光

風呂の水はほとんど替えない

わが家の昨年度の水道光
熱費は、月平均で一万一千
円弱となっている。ちなみに、
「年収一二〇万円で暮
らす法」を唱えていた一九
八〇年に調べた時は八千円
ほどだったので、そのころ
に比べれば、いささか浪費
気味になっている。だが、
これにはわけがある。



風呂場の湯を洗面器にくみ、廃油せっけんをカッターに塗って、割りばしでつまんでつけ洗い。すべてリサイクルだ
(神戸市灘区の自宅)

し、体にも良くないことは
わかっていても、なにしろ
わが家は二階建ての木造ア
パートの二階。昼の間瓦(か
が、七、九月は一気に四百
わら)屋根は熱されて、室
結、一万円近くに跳ね上が

というわけで、十月から
翌年六月までは一月百五
十銭、三千円までの電気代
が、七、九月は一気に四百
ばいけなない。
まず、わが家のキッチンに
はガス湯沸し器がない。今
時湯沸し器のない家という
のも珍しいかもしれない
が、ストーブと違って、そ
れがなければ仕事ができな
いというものでもない。

さらに、キッチンにはオー
ブンもなければグリルもな
い。あるのはガスコンロが
一台だけ。他には大・小の
フライパンと鍋(なべ)が
四つほど、それに焼き網が
一つ。あまり凝ったものは
できないが、通常の家庭料
理に困ることはない。
ところで、わが家の水道
使用量は二カ月で二十立方
メートルを超えたことはなく、ず
っといわゆる基本料金以
内に収まっており、下水道使
用料と合わせて二カ月で二
千五百円ではない。これ
はおそらく、洗濯機をあま
り使わないこと、風呂(ふ
ろ)の水をめったに替えない
こととにかかわっている
のだろう。

(フリーライター)